



佐々里峠 (峠谷はダンノ峠から)



ダンノ峠への標識 (地図①)



P 866 ピーク

904 佐々里峠 937 ダンノ峠分岐① 947  
P 866 1012 品谷山 1052 品谷峠④  
1127-1233 廃村八丁 (四角錘小屋)・昼食  
1238-1247 八丁温泉? 1253 廃村八丁  
1308 四郎五郎谷分岐⑤ 1329 奈良谷分岐  
⑥ 1353-1402 同志社建物 (四郎五郎谷分岐)  
⑦ 1419 ダンノ峠⑧ 1446 ダンノ峠分岐  
1515 佐々里峠



四郎五郎谷への分岐⑨



品谷山

調べてみると去年も廃村八丁に来ているが紅葉にはちと早い時期だったようです。それに比し今回は最高の紅葉を見ることができました。

佐々里峠を出発し、ダンノ峠の分岐①、P 866 を過ぎ、四郎五郎谷への分岐⑨に。ダンノ峠の分岐までは杉やヒノキの巨木に加え、きれいな紅葉も見られるようになり、以降、紅葉がピークの道をルンルンと進んだ。品谷山から峠に向かうが、地点②で南の尾根にはいつてしまった。また、25000 の地図にある品谷峠③はなく、ピークをひとつ越えたところに

品谷峠④があった。地点③に峠への標識があるのをあとで発見。



品谷峠への標識③



品谷峠④



廃村八丁



四角錐のトタン屋根



一部損壊した八丁温泉建屋



損壊した八幡社

廃村八丁は幾分変化があった。八丁温泉建屋の一部と八幡社が損壊していた。去年の雪で損壊したとのことであった。ここで昼食をとったあと、ダンノ峠に向かう。四郎五郎谷の分岐⑤を過ぎ、刑部滝で奈良谷にはいり滝を巻いた。前は尾根に直登しえらい目に会っていたので、今回は奈良谷を5分ほど遡ってから登山道（わかりにくい）に従い、尾根に。



四郎五郎谷分岐⑤



刑部谷巻き道⑩



刑部谷との合流点⑦ (テープのみ)



同志社研究室そばの枯れた大木

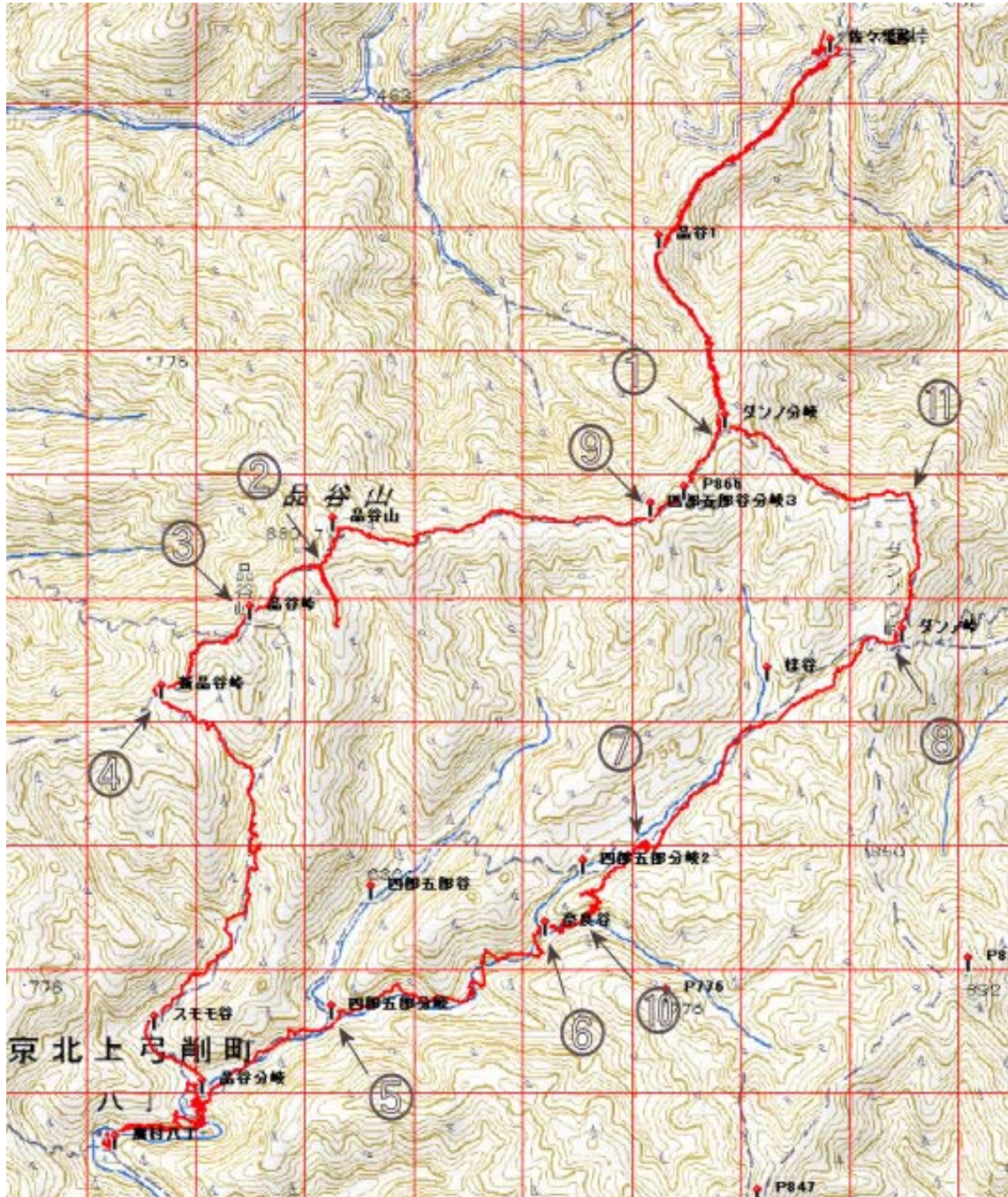


ダンノ峠⑧



佐々里峠への標識⑪

刑部谷との合流点⑦はテープのみの表示ゆえ逆コースの場合はわかりにくい。同志社研究室の南側にあたる。ここは広い平地となっていて、枯れた大木や大きな木もありとくに新緑や紅葉時の雰囲気はいい。ダンノ峠⑧、佐々里峠への標識⑪を経て、ダンノ峠分岐①にもどり、佐々里峠に到着。  
最高の紅葉でした。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

HOMEは <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/>

トップページは <http://mametil.googlepages.com/home>